

第37回全国フォークリフト運転競技大会開催

【一般の部】優勝 野口順平選手(茨城県支部) 準優勝 河村光男選手(京都府支部)
【女性の部】優勝 氏家美恵子選手(福島県支部) 準優勝 近藤 夢選手(三重県支部)



運転競技



学科競技



点検競技

陸上貨物運送事業労働災害防止協会は、10月1日(土)・2日(日)、中部トラック総合研修センター(愛知県みよし市)にて第37回全国フォークリフト運転競技大会を開催しました。

地方大会参加選手370名の中から、特に優秀な成績を修め、各都道府県支部長から推薦を受けた、一般の部38名、女性の部14名、合わせて52名の選手が参加されました。

大会2日間は晴天に恵まれ、両日とも最高気温が30度を超える真夏日となりました。

本年の大会を制覇し優勝されたのは、
一般の部 茨城県支部 野口順平選手
女性の部 福島県支部 氏家美恵子選手
でした。



一般の部優勝 野口順平選手、女性の部優勝 氏家美恵子選手

野口選手は、今回が初めての全国大会出場で見事栄冠を手にするという快挙を成し遂げられました。

氏家選手も初出場でしたが、先輩の指導を受けながら練習を積み重ね、見事に優勝手にされました。

今回の大会は、昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、参加選手を各支部、各部門1名ずつに抑えましたが、昨年より15名の増加となりました。

また、地方大会についても全国的に新型コロナウイルスの感染状況が続く中での開催となり、難しい対応となったと思われます。多くの支部の関係者や会員企業の皆様のご理解とご協力により地方大会を開催することができ、代表選手を派遣いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

昨年同様、今回の大会でも、新型コロナウイルスの感染防止対策を十分に取ながら安全、安心な大会を心がけ実施しました（後記参照）。参加選手をはじめ付添いの皆様のご協力に感謝申し上げます。

以下、大会の模様をご紹介します。

大会初日（10月1日）、選手の受付は9時30分からでしたが、その1時間以上前から選手が続々と集まり始め、運転競技の会場を確認したり、学科競技に向けテキストの最終確認を行ったりして、少しずつ大会に臨む準備を

整えていました。受付開始前には既に多くの選手が参集し、受付開始と同時に検温、新型コロナウイルス感染症についての確認を行い、ゼッケン番号の抽選に臨みました。

ゼッケン番号の抽選では思いどおりの番号を引いた方や、予想外の番号を引いた方など悲喜こもごもの様子が見られましたが、競技に臨む決意を新たにされているように感じられました。

開会式

開会式は10時30分から行われました。

開会の挨拶

大会実行委員長である当協会横尾雅良専務理事から開会の挨拶があり、「今年の大会も新型コロナウイルスの感染状況から、出場選手枠を抑えたところで、本大会への出場を強く希望しながら参加がかなわなかった、多くの仲間たちの思いも胸に、選手の皆様方にはこれまで培ってこられた知識と技術、技能を遺憾なく発揮し、健闘されることを強く希望します。皆様が本大会への参加を目指す中で得られた体験、知見



写真1 横尾実行委員長

第37回全国フォークリフト運転競技大会出場選手の皆さん（敬称略）

一般の部（38名）

支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
北海道	岩城 優	東京都	森 厚	三重県	小川 裕樹	愛媛県	近久 寛之
岩手県	土谷 綺咲	新潟県	川崎 博史	滋賀県	大城 柊太	福岡県	森山 洋平
宮城県	庄司 誠幸	富山県	若田 智和	京都府	河村 光男	佐賀県	小林 耕平
山形県	阿部 健志	石川県	石田 孝夫	大阪府	天野 考丞	熊本県	松本 真実
福島県	門馬 秀一	福井県	大村 喜男	奈良県	吉村健太郎	大分県	竹尾 快晴
茨城県	野口 順平	山梨県	櫻田 正晃	和歌山県	福本 一成	宮崎県	黒木 康太
栃木県	落合 信彰	長野県	相馬 直征	岡山県	藤原 明広	鹿児島県	水江 正則
群馬県	石倉 利啓	岐阜県	瀧口 正人	山口県	中野 裕貴	沖縄県	喜納 雅也
埼玉県	小澤 修磨	静岡県	斎藤 富弥	徳島県	奥村 渉		
千葉県	川口 翼	愛知県	塚本 雄大	香川県	長谷川隆太		

女性の部（14名）

支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
宮城県	佐藤美那海	群馬県	梅本 直子	三重県	近藤 夢	宮崎県	河野 香織
福島県	氏家美恵子	長野県	太田 淳子	岡山県	佐藤 修子	沖縄県	比嘉真由美
茨城県	米川 真穂	静岡県	山本 実夢	徳島県	床櫻 春美		
栃木県	岡 茉里奈	愛知県	諸田 真帆	熊本県	下川かほり		

を職場における労働災害の根絶に役立てていただくようお願いします」と開会を宣言されました。

開催地支部長挨拶

次いで開催地支部の青木均愛知県支部長（当協会副会長）から、「選手の皆様、全国から愛知県にようこそお越しくださいました。この大会は競技ではありますが大切なことは順位ではなく皆様のフォークリフト作業における安全であり、労働災害を起こさないことです。出場のために努力をされた知識及び技術などを他の社員の方々に水平展開し、労働災害を防いでいただくようお願いします」との挨拶がありました。



写真2 青木愛知県支部長

選手宣誓

続いて、前回大会の優勝者が所属していた石川県支部選出の石田孝夫選手が全選手を代表して、「正々堂々、競技することを誓います。」と力強く選手宣誓を行いました。



写真3 選手宣誓

競技

学科競技

学科競技では、選手は制限時間40分50問の解答に取り組みました。

多くの選手が制限時間まで集中し、筆記具を手の問題用紙と解答用紙に向き合っていました。



写真4 学科競技

点検競技

点検競技は全3コースで実施しました（写真5）。今大会点検競技で使用したフォークリフトは次の機種です。

第1コース：トヨタ L&F（02-8FGL15）

第2コース：住友ナコ（FG15PAXIII）

第3コース：コマツ（FG15T-21）

前大会同様、競技を円滑に行うため、ゼッケン番号順に競技の準備が整ったコースを係員が指定することとしました。

また、今大会では点検競技は無観客で実施しました。

どのメーカーのフォークリフトを点検するか直前まで分からず、不安と緊張の面持ちで競技会場へ到着した選手が、審査員の「始



写真5 点検競技

め」の合図を受けると、直ちにきびきびと素早く点検を実施していく姿には驚嘆しました。

競技は円滑に行われ、大会1日目は14時30分までに全て終了しました。

【運転競技車両の展示】

今大会では、大会2日目の運転競技に使用するフォークリフトを大会1日目の11時から16時までの間管理棟前の駐車場に展示しました。



写真6 展示車両

点検競技を終えた選手が操作レバーやペダルの位置など細部まで確認を行っていました。

その後、選手はバスに乗りホテルへ移動し宿泊しました。

翌朝、宿泊先から会場へ向かう車中は、運転競技への緊張感に包まれておりました。

運転競技

大会2日目（10月2日）の運転競技は9時00分から木口技術管理部長と審査員全員が整列し、木口部長の「運転競技を開始します」との合図により始まりました。

運転競技は全2コースで実施しました（写



(Aコース)



(Bコース)

写真7 運転競技

真7)。今大会運転競技で使用したフォークリフトはAコース、Bコースともに次の機種です。

三菱ロジスネクスト（KFGE25P）

選手が運転競技を行うコースは、前回大会同様、競技の準備が整ったコースをゼッケン番号順に係員が指定しました。

選手は終始引き締まった表情でフォークリフトを操作し、安全確認を行いながらフォークリフトと一体になったかのように狭いコースを走行していました。

表彰式

運転競技が12時34分に終了し、表彰式は14時00分から行われました。

会長挨拶

当協会渡邊健二会長から「本年も、新型コロナウイルスの感染状況も踏まえながら、初日は無観客、本日の運転競技も感染防止対策に万全を期して実施い



写真8 渡邊会長

たしましたので、選手の皆さんをはじめ、付添の方々にもご不便をおかけしました。安全で安心な大会とするための措置として皆様にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。お陰様で、滞りなく大会を開催できましたことに対し、深く感謝申し上げる次第です。

本大会は、フォークリフトの運転競技を通じて、運転に関する知識と技能の向上を図り、遵法精神と安全意識を高めることにより、荷役運搬作業の安全を確保するとともに、職場における労働災害防止に寄与しようとするものです。

陸運業における労働災害は増加傾向が続いており、特に荷役関連災害がその多くを占めている状況にあります。その中でも、フォークリフトに起因する災害は、荷役5大災害の一つとして、その安全作業に向けた取組が一層求められているところです。

こうした中、選手の皆様は、本大会への参

加に向けて、フォークリフト運転の知識、技能に一層の磨きをかけられたことと推察します。本大会への参加を通じて得られた経験を職場の同僚、後輩の方々に広く伝えていただき、職場における労働災害の防止になお一層のご尽力をいただくようご期待申し上げます。

終わりに、各地方大会及びこの全国大会を通じて、荷役運搬作業における安全作業の確立と労働災害の防止がさらに推進されますことを祈念いたします」との挨拶がありました。

来賓祝辞

続いて、ご来賓の方々からご祝辞をいただきました。

厚生労働省労働基準局美濃芳郎安全衛生部長（要旨）

「本大会が新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を適切に講じつつ、多数の参加者を得て開催されましたことを、お祝い申し上げます。



写真9 美濃厚生労働省労働基準局安全衛生部長

令和3年のフォークリフトに関連する労働災害発生状況を見ますと、21名の方々の尊い命が失われ、また、2,028名の方々が休業4日以上 の災害に被災されている状況です。

また、陸上貨物運送事業における死傷者数は、物流量の増加等を背景として残念ながら増加を続けており、このうち7割が荷役作業中に発生しています。

厚生労働省では、去る8月に、陸上貨物運送事業労働災害防止協会において取りまとめたいただいた報告書を参考に、トラックの荷台からの墜落・転落災害の防止をはじめ、荷役作業の安全対策を推進してまいります。皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

本年度は第13次労働災害防止計画の最終年度であり、計画において陸上貨物運送事

業は、重点業種として位置づけられています。受賞者の方々をはじめ、本日ご参加の皆様方におかれましては、安全な作業方法の実施について職務を再点検いただくとともに、今後とも職場や地域における模範として、日頃の安全活動や後進の指導にも取り組んでくださいますようお願い申し上げます。」

全日本トラック協会会長（代読：大西政弘 全日本トラック協会交通・環境部長）（要旨）

「全国から選出されたフォークリフト運転者によって、日頃から培った高度な技術と知識が競われた本大会の持つ意義と役割は重要です。参加された選手の方々は、本大会の参加を誇りに地域のフォークリフト運転者に対して、安全は全てに優先するという意識を浸透させるためのリーダーとして、今後の一層の活躍をご期待します。」



写真10 大西全日本トラック協会交通・環境部長

日本産業車両協会会長（代読：高瀬健一郎 日本産業車両協会専務理事）（要旨）

「昨年に引き続き今年の7月4日に東京でフォークリフト安全の日という行事を開催しました。今後もフォークリフト安全向上のための最新の機能をご紹介しますとともに、フォークリフトを正しく使っていただくための普及啓発活動に力を入れてまいります。フォークリフトにおける荷役作業の安全向上を目指した本大会をはじめとする陸上貨物運送事業労働災害防止協会の事業に大いに賛同しますと共に、卓越した技術を持って各支部を代表して参加された選手の皆様のますますのご発展をお祈りします。」



写真11 高瀬日本産業車両協会専務理事

講評・入賞者発表

当協会木口昌子技術管理部長から「学科競技は50問で一問6点、300点満点で競技を行いました。最高点は294点、一問のみ不正解という好成績でした



写真12 木口技術管理部長

(成績は一般の部、女性性の部の全体。以下同じ。)。平均点は222.7点と、例年より低かったため、問題が難しかったかと思っております。

点検競技は100点満点で、満点が6名。平均点は83.5点と、昨年よりも好成績でした。

運転競技は600点満点で、満点が1名。平均点は518点、これも昨年よりも好成績でした。

総合点は、1,000点満点で最高点が959点、平均点が824点でした。これも好成績だったと思います。

一般の部では、第3位から第5位までがそれぞれ1点差と、かなりハイレベルな厳しい戦いになりました」と講評し、続いて入賞者の発表が行われました。

今大会も前回大会同様、感染防止のため歓声のない拍手のみとなりましたが、健闘賞、5位、4位と入賞者が発表されるにつれ拍手が大きくなり、優勝者発表では割れんばかりの拍手が沸き起こりました。

第37回全国フォークリフト運転競技大会 一般の部 入賞者及び結果 (敬称略)										
順 位	氏 名	支 部 名	総合得点	学 科	点 検	運 転		配 点	最 高 得 点	平 均 点
優 勝 (厚生労働大臣賞)	野口 順平	茨城県	959	294	95	570	学 科	300	294(1名)	233
							点 検	100	100(6名)	88
							運 転	600	600(1名)	539
							総合得点	1,000	959	859
準優勝	河村 光男	京都府	947	282	100	565	()内は最高得点者数			
第3位	小林 耕平	佐賀県	940	270	100	570				
第4位	塚本 雄大	愛知県	939	264	95	580				
第5位	中野 裕貴	山口県	938	258	95	585				
健闘賞	近久 寛之	愛媛県								

第37回全国フォークリフト運転競技大会 女性の部 入賞者及び結果 (敬称略)										
順 位	氏 名	支 部 名	総合得点	学 科	点 検	運 転		配 点	最 高 得 点	平 均 点
優 勝 (厚生労働大臣賞)	氏家美恵子	福島県	934	264	85	585	学 科	300	264(1名)	195
							点 検	100	95(2名)	73
準優勝	近藤 夢	三重県	899	234	95	570	運 転	600	585(1名)	461
第3位	米川 真穂	茨城県	885	210	95	580	総合得点	1,000	934	729
第4位	河野 香織	宮崎県	775	150	80	545	()内は最高得点者数			
第5位	岡 菜里奈	栃木県	764	174	80	510				
健闘賞	床櫻 春美	徳島県								

表彰

入賞者発表に続き表彰が行われ、陸上貨物運送事業労働災害防止協会会長賞が渡邊会長から入賞された選手一人一人に授与されました(写真13)。

一般の部及び女性の部の優勝者へは、美濃厚生労働省労働基準局安全衛生部長から厚生労働大臣賞の授与(写真14)があり、次いで渡邊会長から会長杯の授与(写真15)が行われ、今回の大会は14時50分に閉会となりました。



写真13 会長賞を手にした一般の部入賞者の皆さんと渡邊会長



写真13 会長賞を手にした女性の部入賞者の皆さんと渡邊会長



写真14 美濃安全衛生部長と厚生労働大臣杯を持つ各部門優勝者



写真15 渡邊会長と会長杯を持つ各部門優勝者



入賞選手の皆さん

前列左から、代田愛知労働局長、美濃安全衛生部長、野口順平選手、渡邊会長、氏家美恵子選手、青木愛知県支部長、横尾実行委員長、後列左から、近久寛之選手、中野裕貴選手、塚本雄大選手、小林耕平選手、河村光男選手、近藤夢選手、米川真穂選手、河野香織選手、岡茉莉奈選手、床櫻春美選手

第37回全国フォークリフト運転競技大会 結果の概要

技術管理部長 木口昌子

学科競技（正誤式50問、300点満点）

学科競技は、以下の科目及び問題数で行われました。

出題科目別では、「走行に関する装置の構造、取扱の方法」の科目で正答率が伸び悩みました。普段の仕事ではあまり意識することはないかもしれませんが、安全かつ迅速な走行を実現する上で必要不可欠な事項ですので、大会を機に改めて知識の再確認を行い、後進の指導の際などにも活かすようにしてください。

科目	問題数	配点	正答率
関係法令	10	60	70.6%
走行に関する装置の構造、取扱の方法	10	60	62.5%
荷役に関する装置の構造、取扱の方法	20	120	77.5%
運転に必要な力学	10	60	83.1%
合計	50	300	74.2%

点検競技（審査対象点検項目10項目、100点満点）

点検競技は、作業開始前点検項目43項目のうち10項目を審査対象点検項目とし、当該項目の点検実施の有無及び不具合箇所が発見について審査する方式で行われました。

不具合箇所の指摘誤りは、ファンベルトの張り不良と後輪のハブナットの緩みで多くみられました。作業開始前点検の点検項目ごとに、是正を必要とする状態とはどのような状態であるかを、正しく理解するようにしてください。ハブナットの緩みに関しては、不具合箇所が複数あったにもかかわらず1か所のみの申告となったケースが多くみられました。不具合箇所を1か所発見したことで安心するのではなく、必要箇所の点検は漏らさず行うことを心がけてください。

また、作業開始前点検項目43項目に抜け落ちがあった選手も多くみられました。時間が押して慌ててしまうと点検がおろそかになりがちですので、全項目が5分以内に確実に点検できるよう、普段から練習するようにしてください。

運転競技（減点方式、600点満点）

運転競技は、「三菱ロジスネクスト」製の最大荷重が2.5 tのカウンターバランスフォークリフト(ガソリン・トルコン車)を用い、1.0 tの荷を使って行いました。

基本操作技術の中では、走行操作はおおむね良好でしたが、二段取りや二段積みの際に、パレット端面と架台端面の不一致やフォークの差し込み不足等で減点されるケースが散見されました。また、走行を終えてほっとしたのか、ゴール停車時にフォークを地面につけないで終了する選手も少なからず見られました。

運転操作に際しての注意事項は、事前にお配りしている「第37回全国フォークリフト運転競技大会点検競技及び運転競技実施細目」に詳細に記されています。大会での運転操作を振り返って、できていなかった部分を是正し、より安全で正確な運転につなげていただければと思います。

【大会優勝者インタビュー】

練習は本番のごとく、本番は練習のごとく

第37回大会 一般の部 優勝 野口順平 選手

優勝おめでとうございます。ご感想をお聞かせください。

まさか自分が優勝するとは信じられないです。大会に出場するのも初めてでしたので。自分の力を出し切れなかったところもありますが、あきらめず最後まで食らいつきました。結果に結びついて良かったです。

入賞者発表にて5位から準優勝まで発表されている時には、ドキドキして耐えられなくて早く終わってほしいとも、ひょっとしたらとの期待も、また来年挑戦かなとも考えていました。自分の名前が呼ばれたときは足が震えました。

大会への出場のきっかけをお聞かせください。

自分から出場したいと言いました。自分の営業所に過去の大会で結果を残している先輩たちがおり、憧れがあったので、チャンスがまわってきたと思い立候補しました。周囲からは一年目だから思いっきりやってこいと背中を押してもらいました。

今大会に向けた地方大会についてお聞かせください。

地方大会（茨城県大会）は、15名出場の大会でした。運転競技では緊張でフォークリフトをぶつけてしまいました。それでも、何とか…何とか優勝することができました。

どのように全国大会に臨まれましたか？

自分は学科競技に向けて勉強をすごく力を入れて取り組みました。大変でした。初めてのことでしたので、どこから勉強したらいいのか分からないながら最初は独学で、そして自分の営業所の先輩方からアドバイスをいただきながら勉強しました。仕事の日が終わってから、休日は一日中、毎日勉強しました。

また、大会出場に当たってのメンタル面として、とにかく練習どおりにと教わりました。練習は本番のごとく、本番は練習のごとく。常に本番を意識して、それがおのずと本番に繋がってくると思い練習しました。

大会一か月前ぐらいからは職場を離れ、合宿に参加しました。

今大会、各競技で手応えはありましたか？

学科競技は、全体的にはできましたが、自信がない問題が2、3問ありました。

運転競技は、フォークリフト



一般の部優勝 野口選手

が初めて乗る車種で、かつ新車だったので、エンジンやブレーキの具合、いろんなものが今まで練習してきたフォークリフトと違う点があると思ったので、とても緊張しました。

練習では、ガソリンとディーゼルどちらもできるように、ともに2.5t車に乗りました。

優勝することができた秘訣を教えてください。

まずは先輩方からのアドバイスです。すごい力になりました。

自分自身としては、学科競技が本当にすべてと思い、勉強してきました。取り組んだ分だけ成績がついてくるので、すごく大事ななと思います。

それと、1か月間自分が職場を空けた期間が忙しい時期に当たり、皆さんにつらい思いをさせていたので、自分は優勝で返すしかないという気持ちで勉強してきました。

現在の職務内容をお聞かせください。

精密機械の積込みをフォークリフトに乗って行っています。高価な製品だけに常に慎重かつ間違いのない運転を心掛け、周囲の確認を徹底し、会社のルールに則り必ず誘導員の指示に従います。安全な速度での走行や後方確認も怠らずに運転しています。

最後に一言お聞かせください。

まずは職場の方々に感謝の気持ちを伝えたいです。また、大会出場で得た知識や安全意識をみんなで展開できたらと思います。

そして、大会出場経験は非常に役に立つことを広め、出場したいという人たちの後押しや職場の安全活動に貢献したいです。

【大会優勝者インタビュー】

創意工夫と丁寧な運転

第37回大会 女性の部 優勝 氏家美恵子 選手

優勝おめでとうございます。ご感想をお聞かせください。

本当に嬉しいです。ホッとしました。1位しか狙っていなかったのに、入賞者が5位から順に発表される間は絶対に呼ばれないでと願っていました。指導員の方々に教えていただいたことを本番で出し切りたかったのですが、思うようにできなかったところがあったので、優勝者発表で自分の名前が呼ばれた時は、嬉しいより先に良かったという気持ちがありました。

地方大会ではいかがでしたでしょうか。

大会には初めて出場しました。地方大会(福島県大会)の女性部門出場者は1名でしたので何もやらなくても全国大会に出場できることでしたが、だったら男性にも勝ってやるという気持ちで、総合1位を狙いました。悔しいことに総合2位で、今度は1位をとる！という思いでした。

全国大会での各競技で手応えはありましたか？

学科競技は、終了5分前のアナウンスの時点で終わりきる量ではなく、見返す時間がないまま、時間ギリギリで終わってしまいました。全国大会に向けて過去問に取り組んできましたが、思っていたよりも難しかったです。

点検競技は、練習でも緊張しながらやっていたのですが、本番はまた違った緊張がありました。あとで思い返した時、減点箇所がいくつかあったので、どうしてもっと落ち着けなかったのかなという思いです。

1日目終了後の宿泊先でも、考えれば考えるほど緊張してしまい、夜中に何回も何回も目が覚めてしまいました。イメージトレーニングなどを色々やっても落ち着けなかったもので、朝は早めに起きて過ごしました。

運転競技は、学科と点検が思うようにいかなかったのに、大きな減点をしないために、ぶつけないよう丁寧に運転しました。また、大きい声で声出しすることを意識しました。あがり症なので、声を出すことで体がきびきびとついてきたと思います。タイムはオーバーしてしまいましたが、減点はあまりないのでは

と思います。

運転競技の秘訣はございますか？

背が小さいので、アクセルを踏む際にどうしても踵が浮いてしまい、つま先だけで運転するために速度が一定ではありませんでした。そこで指導員の方から

「背中にクッションを入れて体が前に来るようにしたらどうか」とアドバイスをもらい、練習場前にあるデパートにすぐ買いに行き実践しました。おかげで足がばっちり着くようになり、毎日このクッションと共に頑張りました。こうした創意工夫が良い結果に繋がったのだと思っています。

職場や周囲の方々のご協力はございましたか。

職場の皆さんに協力していただいたお陰で仕事を抜けて研修することができたし、頑張っただけで早く送り出してもらいました。

研修で1か月孫と会えなかったのですが、「フォークリフト頑張っただけ！」と動画でメッセージを送ってきてくれて、それがとても励みになりました。

現在の職務内容をお聞かせください。

自動車部品の出荷業務で、1日の半分くらいフォークリフトに乗っています。作業中は、ぶついたり製品を落下させたりすることがないように、とにかく安全運転を心がけています。

最後に一言お聞かせください。

今までやってきたことが実って本当に良かったです。これからも安全第一で取り組んでいきたいです。

大会を通して今まで以上に運転技術が身に付いてきた分、一緒に働いている人たちにも教えられところは教えて、みんなで安全運転で仕事をしていきたいなと思います。



女性の部優勝 氏家選手

【新型コロナウイルス感染防止対策】

感染防止対策に取り組みました

今回の大会では、選手の皆様をはじめ、来場された皆様に安全安心な大会となるよう、新型コロナウイルスの感染防止対策に取り組みました。

主な取組内容をご紹介します。

受付での取組

事前に感染症対策チェックリストに10日間の体調を記入していただき、受付で確認しました。

選手の付添者は3名以下とし、チェックリストを確認できた付添者の皆様には当協会が用意したリボンを着用いただきました。

選手・付添者を含む全来場者の体温を確認しました。



開会式・学科競技

開会式は、間隔を十分に取った座席を用意し、選手・付添者の皆様に着席していただきました。

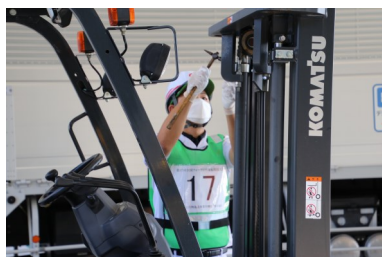


学科競技場も選手間の間隔を十分に取った座席に着席いただきました。



点検競技

点検競技では、全選手に手袋を着用いただきました。



運転競技

運転競技では、全選手の競技開始前にフォークリフトの消毒を行いました。



選手以外の方々は競技会場の周りに張ったロープの外で応援していただきました。



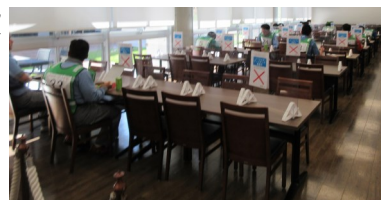
宿泊先

2日目の朝、運転競技会場へ向かうバス乗車前に全選手の体温を確認しました。



食堂

全選手が昼食を取った会場内の食堂では、アクリル板を設置した机に座っていただきました。



表彰式

表彰式会場は、選手の皆様には間隔を十分に取って設置した椅子に着席して参加いただきました。

